

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市美術館基本構想検討委員会(平成25年度第1回)				
事務局 (担当課)		文化振興課 電話042-769-8202(直通)				
開催日時		平成25年7月30日(火) 17時30分~19時00分				
開催場所		相模原市民ギャラリー 会議室				
出席者	委員	15人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	5人(市民局次長、他4人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	3人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 美術館基本構想について 3 その他 4 閉会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員の発言、 は事務局の発言)

### 1 開 会

市民局次長あいさつ

### 2 議 題

美術館基本構想について

基本構想案について、最終的な検討をお願いする。また、基本構想案に追加して、新しい提案もあるようなので、提案委員に説明をお願いしたい。

#### 《提案委員からの説明》

- 基本構想は、素晴らしい案であるが、基本構想を直ちに具現化するのは難しい。美術館整備を何段階かに分け、初めは実現可能な施設を整備し、基本構想に示す美術館は、将来において実現すべきものと考えた。
- 初期においては、機能を必要最小限に抑え、シンプルな建物や組織で施設を整備する。
- 民間のノウハウや民間資金を導入し、整備経費を最小限に抑える。
- 将来の施設の拡充を考慮し、増設の余地を残す施設配置とする。
- 事業の継続性や発展性を重視し、多方面からの財源確保に努め、自治体に過度に依存しない運営を目指す。
- 経営感覚のあるトップや、専門スタッフなど、優れた人材を確保する。

基本構想なので、整備手法まで検討する必要はない。基本計画や実施計画が今後  
に検討されるので、そこで検討されるべきだ。

基本構想に、整備手法が含まれないのは承知している。参考意見として、次の検  
討に申し送りしてもらいたい。

美術館はもともと、それなりの予算がかかるものである。中途半端な施設をつく  
ってしまい、後になって整備の続きを行うのは困難。相模原市に必要な規模の美  
術館を整備すべき。

バブル期のように、美術館整備に潤沢な予算を投入することはできない。現在の  
経済状況で何が可能なのかを考えるべき。以前に、華美な美術館は不要である  
という意見も出ていた。

一括整備とした場合は、整備は先に延びてしまう恐れがある。アトラボで先行  
的な活動を行っているのに、美術館整備の機運が無に帰してしまっは意味がな  
い。早期に、次の計画検討を進める必要がある。

市立小中学校では、「さがみ風っ子展」を長い間実施してきた。子供たちの展示

の場や記録を保存する場がほしいと声を上げてきたが実現していない。美術館整備は、実現可能な部分から着手することとし、早期に計画を進めるべきだ。

今回の提案では基本構想の考えを生かしながら、シンプルな施設や組織を想定している。第一段階でコストを考慮した施設を先行整備し、長期的に美術館を三段階くらいで整備していく。第一段階は、いわゆる「美術館」でなく、アートセンターでもよい。

段階的に整備を進めていく考えには同意できるが、どこまでをプレ施設と呼び、どこから美術館と考えるのか。

整備段階で分けるのではなく、同じ施設と考えてよいのではないか。

アートセンター的機能を先行整備すると、後で美術館機能を追加整備することが困難になるのではないか。最初から美術館として整備を進めるべき。

必要な施設を整備し、先行的に事業を始めることで、時代に対応させていくことも可能。時代を見極められることが、段階的に整備を進めるメリットでもある。美術館を整備するということで、これまで自由な議論を進めてきたが、想定される施設に対し、基本構想が大きすぎるのではないか。

基本構想が小さいと小さな美術館しかできない。基本構想は水準を高くしておき、施設の詳細は基本計画で決定すべき。

基本構想には、相模原の「まちづくり」という高い理念が盛り込まれており、内容も充実している。スケールダウンする必要はない。

基本構想案のゾーニングは、機能が重複しているうえ、ゾーンもA～Gまで挙げてあり、とても実現できるとは思えない。重なる機能は統合し、事業内容に応じて使い分けていくべきではないか。

ゾーニングは、事業の方向性を例として示したものであり、施設の大きさを示したものではない。また、実施する事業も、幅を広く捉えており、必ずしも全てを実施する必要はない。美術館の規模や役割を勘案し、それらの機能をどのように実現するか、今後、整理する必要がある。

今回の提案では、独立採算制の高い運営を取り入れるとしているが、美術館の入館料収入は微々たるもの。隣接する商業施設には、カフェやレストランが充実していることから、館内のショップへの集客は困難。このため、収益よりむしろ様々な助成金制度を利用し、魅力ある活動を実施して、国や企業から助成金を得られるよう努力すればよい。

財源確保のためには、企業や学校、市民との協力が不可欠。そのためには、経営感覚のあるトップや専門スタッフなど、優れた人材の確保が重要。

基本構想段階では、細かな運営方針までは決めず、「効率的な運営を検討する」というような表現に留めておく方がよいだろう。

今回の議論で、基本構想に含まれない部分は、補足意見として次回の計画検討に

引き継いでもらいたい。

市はアートラボにおいて興味深い活動を行っている。せっかく始めた事業を無にしないために、早期に次の計画に着手されたい。

- 各委員から出された意見において、基本構想（案）について、特段、異論が出ていないことから、委員長と事務局で基本構想の最終案を作成し、委員の皆様にお送りさせていただく。

## 相模原市美術館基本構想検討委員会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	いしわた なお 石渡 尚	横須賀市自然・人文博物館	学芸担当課長	出席
2	いとう としはる 伊藤 俊治	東京藝術大学	教 授	出席
3	いなぎ よしかず 稲木 吉一	女子美術大学	教 授	出席
4	うちやま じゅんこ 内山 淳子	横浜美術館	主任学芸員	出席
5	おさない せいげん 小山内 清弦	文化協会	会 長	出席
6	かねこ のりよし 金子 典由	公募委員		出席
7	かみじょう ようこ 上 條 陽子	相模原芸術家協会	会 長	出席
8	こばやし まさこ 小林 正子	市立大野台中学校	校 長	出席
9	すずき まさひこ 鈴木 正彦	光と緑の美術館	館 長	出席
10	たかはし よういち 高 橋 洋一	市立宮上小学校	校 長	出席
11	ふきた ちあき 吹田 千明	藤野ぐるっと陶器市・篠原の里		出席
12	もたい としや 母袋 俊也	東京造形大学	教 授	出席
13	もりわき ひろゆき 森脇 裕之	多摩美術大学	准教授	出席
14	やまもと みたす 山本 満	(株)さがみはら産業創造センター	専務取締役	出席
15	よしむら りょうこ 吉村 涼子	公募委員		出席